

家庭用石油ファンヒーター 累計生産台数 3,500 万台を達成 12月19日に記念セレモニーを開催しました



※ 2023年12月19日現在。1980年からの家庭用石油ファンヒーターの生産台数。自社調べ。

ダイニチ工業株式会社（本社：新潟県新潟市、代表取締役社長：吉井 唯）は2023年12月19日（火）に、自社ブランド「ブルーヒーター」の家庭用モデルである家庭用石油ファンヒーターの累計生産台数 3,500 万台を達成し、同日に記念セレモニーを開催しました。

記念セレモニーを開催しました

セレモニーには当社会長・社長・関係部署長が出席。社長挨拶からくす玉割り、最後に記念撮影を行いました。



会長、社長、関係部署長らによる記念撮影
(後列左から5番目：会長 6番目：社長)

社長挨拶（抜粋）

この度、家庭用石油ファンヒーター累計生産台数 3,500 万台を達成することができました。この喜ばしい日を迎えられましたことを心より御礼申し上げます。

当社の社是は、よい商品をつくりお客様へご提供することです。これまで、社内の多くの部門、そして多くの会社にご尽力いただき、みんなで協力して真摯なものづくりに取り組んできました。

その商品が、長年にわたり、たくさんのお客様からご支持をいただき、44年間で 3,500 万台という台数になりました。これは当社の家庭用石油ファンヒーターにかかわった全員で達成した記録であり、大変うれしく思います。

そして、ここで終わりではありません。今後も、さらにより商品をご提供できるよう、社員一同で取り組んでまいります。

2023年12月19日
代表取締役社長 吉井 唯

当社の家庭用石油ファンヒーターの歴史

石油ファンヒーターは、1978年に三菱電機様が日本で初めて、世界でも初めて開発した製品です。発売以来急成長を遂げ、日本の冬の暖房の主力製品となる画期的なものでした。

当社は1964年の創立当時より石油燃焼技術を応用した製品開発を行っており、1971年には煙突が不要な業務用石油ストーブを業界に先駆けて開発し、製造販売を開始しました。その技術と経験を生かして、1980年に着火スピードが業界最短*の気化器を搭載した家庭用石油ファンヒーター「FA-32」を開発し、製造販売を開始。初年度に73,000台の販売実績を上げ、当社の主力製品となりました。*自社調べ。

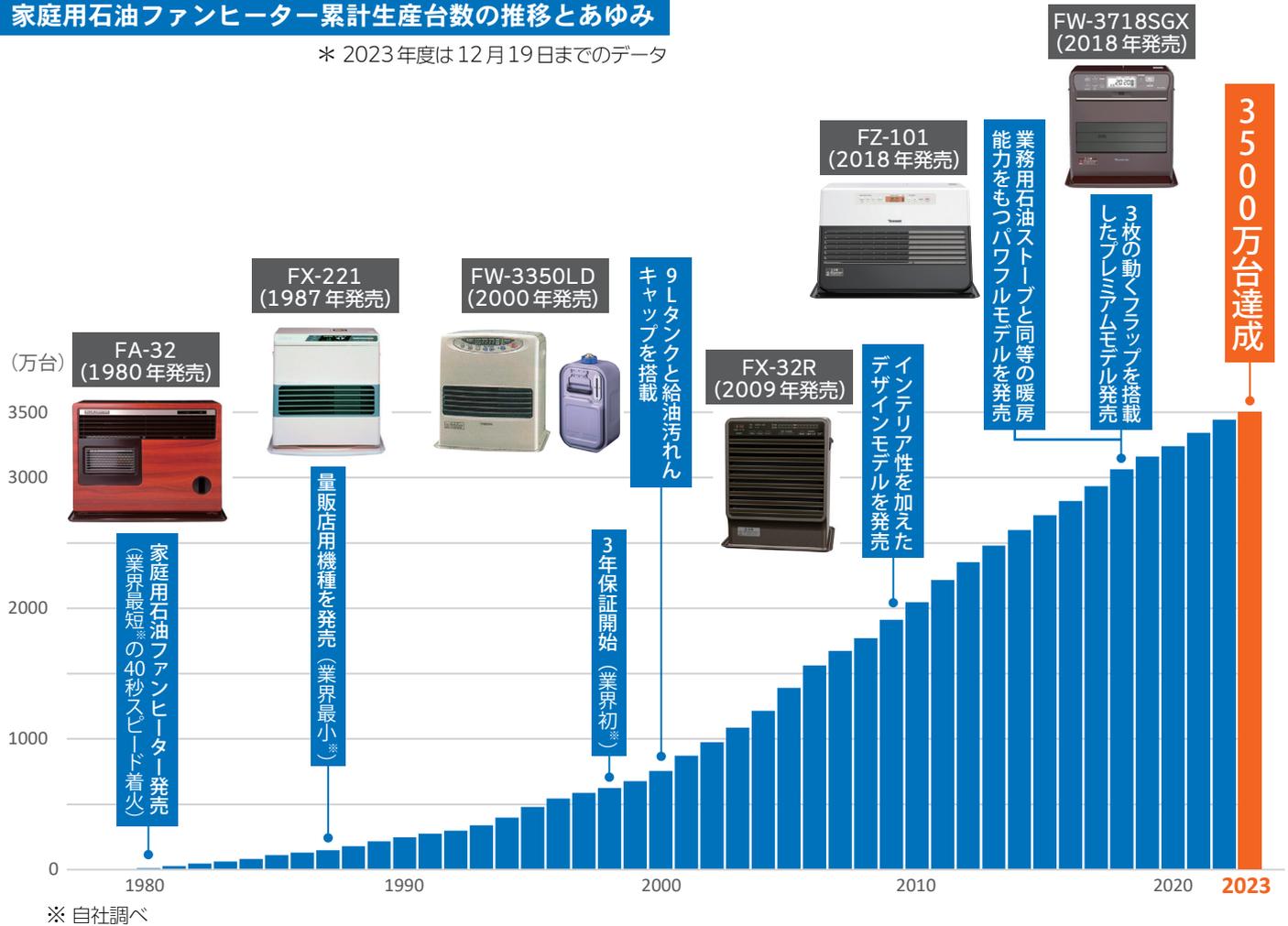
その後も毎年改良を積み重ねて安全性や操作性も向上。近年は毎年約100万台を出荷するまでに成長し、それ以来44年目にして、家庭用石油ファンヒーターの累計生産台数 3,500 万台を達成しました。

現在、石油ファンヒーターの国内市場は成熟が進んでいますが、当社は海外需要も併せて取り組んでおります。

添付資料

家庭用石油ファンヒーター累計生産台数の推移とあゆみ

* 2023年度は12月19日までのデータ



当社のより詳細な歴史はこちらからご覧いただけます
<https://www.dainichi-net.co.jp/company/history/>



企業紹介

新潟県に本社をおくダイニチ工業は、1964年創立。業界に先駆けて石油気化燃焼技術の開発に取り組み、1971年にはガスのように青い炎で燃える気化式暖房機「ブルーヒーター」を発売いたしました。

また石油燃焼機器の専門メーカーとして培ってきた技術を生かし、2003年より加湿器の販売を開始。2023年には累計生産台数 370万台*を達成し、発売以来着実に台数を伸ばしています。

ダイニチが何よりも大切にしているのは、お客様に安全・安心な商品をお届けすること。そのために商品の企画・設計はもちろんのこと、主要部品の生産や最終組立、検査にいたるまでを新潟で行なっています。

* 2023年7月3日現在。2003年からの加湿器の生産台数。自社調べ。

